

令和4年度学校経営の改革方針

学 校 名	津市立高野尾小学校	校長名	永 合 哲 也
児童・生徒数	48 名	学級数	5 学級
		教職員数	12 名

1 めざす学校像

家庭・地域との協働で、子どもを守り育てる地域立の学校

- 学ぶ楽しさ、ともに生きる楽しさが尊重される学校
- 創意と活力に満ち、楽しさと厳しさを併せもつ学校
- 地域力を活かした、安全・安心な学校

教育スローガン

子どもたちに
夢・笑顔・やる気・元気を！

2 現状と課題

本校の児童は、全体的に明るく素直で落ち着いており、勤労生産的な活動にも熱心に取り組む。基本的生活習慣の形成や規範意識・倫理観の醸成に関しても概ね問題は見られない。学校支援本部との協働による、学校を拠点とした「まちづくり」は15年目になる。保護者や地域住民の学校教育への関心は高く、年間を通して様々な分野で大きな支援を得ている。

特に、「夢をもち、自分らしい生き方ができる人間を育てる」ことをねらいとしてキャリア教育に力を入れており、主体的に判断し行動する実践力や、新しいことに挑戦しようとする意欲・態度も育ってきている。今後も、学習面・精神面でのきめ細かな指導や支援を行うことで、児童の自主性の伸長を一層図りたいと考えている。

3 重点目標

◎自立した社会人になるための基礎をつくるキャリア教育を推進する。

- ・人権尊重の精神を基調にした心の教育を充実する。
- ・保護者や地域住民と学校経営方針を共有し、地域ぐるみで子どもを育てる。
- ・校内研修の充実を図り、教員の力量を高める。
- ・教育環境の美化と整備に努める。

4 具体的な行動計画

1) 地域連携

- ・「自治会」及び「学校支援本部」「高野尾・農地・水を守る会」等とのつながりをさらに深め、学習支援や環境整備等のより一層の充実を図る。
- ・「高野尾っ子見守り隊」「SOSの家」との連携を強化し、児童に係る事件・事故ゼロを維持する。
- ・学校を拠点としたまちづくりを進めるため、ふれあい運動会、餅つき大会、音楽鑑賞会を開催するとともに、積極的に情報の発信・収集を行い、地域に開かれた学校づくりを一層進める。

2) 学力の向上

- ・ユニバーサルデザインの授業づくりに係る実践的な研修や授業研究を行い、教職員の指導力の向上を図る。
- ・2複式学級を生かす効果的な授業形態について研究と実践を行う。
- ・地域連携による「キャリア教育」の実践を、保護者や地域住民へ紹介し理解を求める。
- ・「学びの時間」や学 VIVA セット等のプリントを生かし、漢字の読み書き、音読、四則計算など基礎学力の定着を図る。
- ・朝の読書、魅力的な図書館づくり、「アウトメディアデー」や「家読」を進め、読書の習慣化を図る。
- ・水泳指導、長距離走指導などで充実を図り、基礎体力・運動技能の向上に努める。

3) 豊かな心の育成

- ・集団、グループ・ペアで学び合う授業形態を積極的に取り入れたり、1年生～6年生が同じグループで活動する縦割り班活動を行なったりすることで、仲間を信頼し、仲間とともに高まり合える集団づくりに努める。
- ・ノーチャイムを継続し、自ら時間を守って行動することを習慣化させる。

4) 組織力の向上

- ・日常的な情報共有に努め、教職員全員で全校児童を育てていく体制を強化する。
- ・少ない教職員による全体を見通した校務分掌組織を見直すことで、より一層機能させ、活性化を図る。